

ノリ養殖情報(第18報)

令和4年2月10日

長崎県 島原振興局 県南水産業普及指導センター

TEL:0957-64-0487

- 今回の調査は18回目です。
今年度の調査は、陸上調査を月に3~4回の合計20回を予定。

1. 調査結果

調査日: 2月7日(月) 天候:曇り 気温: 3.5°C(5:10 時点)

(今回(2/7)の水温等の測定時間帯 5:15~8:00) ※前回と調査時間帯が異なります。

(前回(1/31)の水温等の測定時間帯 13:05~15:30)

調査点	水温 °C		比重 σ15	栄養塩:無機態窒素 μg-at/L		クロロフィルa (mg/m ³)	病害 検鏡結果	
	今回	前回 1月31日	今回	今回	前回 1月31日	今回	アカ	ツボ
1. 長崎鼻 支柱	7.1	9.7	21.4	6.0	4.5	2.6	+	+
2. 神代 支柱	7.1	10.1	21.4	6.7	4.6	1.5	-	++
3. 土黒 支柱	8.2	10.6	22.1	4.0	16.3	1.1	/	/
4. 多比良 支柱	8.7	13.6	22.7	5.6	9.7	1.7	+	++
5. 大野浜 支柱	8.5	11.8	22.5	8.4	14.3	1.7	+	++
6. 三会 支柱	8.4	11.9	22.6	12.7	10.8	2.4	+	+

※栄養塩の期待値は7.0 μg-at/L以上です。

※アカ、ツボ: なし「なし」、軽度「+」、中度「++」、重症(流出前)「+++」

● 主な植物プランクトン (単位:細胞/ml)

植物プランクトン (優占種)	小型珪藻	大型珪藻
	スケトネマ属	
1. 長崎鼻	33	なし
4. 多比良	15	なし
5. 大野浜	0	なし

● 調査結果概要

- ・水温は7.1°C~8.7°C。海水比重(σ15)は21.4~22.7でした。
- ・漁場に設置している温度計の1月31日から2月7日迄の測定結果は、平均温度は6.7~8.2°Cで、昨年より1.9~2.5°C低く推移しました。
- ・栄養塩は、4.0~12.7 μg-at/Lで、6地点中2地点でノリ養殖における期待値7.0 μg-at/Lを上回りました。
- ・ツボ状菌は、神代・多比良・大野浜・三会で肉眼レベル、長崎鼻で顕微鏡レベルが確認されました。
- ・あかぐされ病は、多比良・大野浜・三会で肉眼レベル、長崎鼻で顕微鏡レベルが確認されました。
- ・植物プランクトンはスケトネマ属(最大33細胞/mL)が優占していました。

2. 赤潮発生状況

- 佐賀県:白石町地先から鹿島市地先にかけて、キートセロスによる着色域が確認されています(2月8日)。

3. 他県の情報

- 福岡県:あかぐされ病が19点中7点(重度1点、中度1点、軽度5点)、壺状菌病が20点中10点(重度4点、軽度6点)、色落ちが19点中3点(全て軽度)で確認されました(2月7日)。
- 佐賀県:あかぐされ病が20点中16点(肉眼視レベル9点、顕微鏡レベル7点)、壺状菌病が20点中6点(全て顕微鏡レベル)、色落ちが21点中8点(レベル2~4)で確認されました(2月7日)。
- 熊本県:あかぐされ病が24点中3点(全て軽度)で確認されました。珪藻(リクモフォラ)の付着が多くの網で見られました(2月3日)。

4. 本県の情報

- 浮き流しと支柱で摘採が行われています。
- 葉長は55~189mmの範囲で、平均は88~105mmでした。
- 1漁場で色調が低下、2漁場でやや色調が低下していました。
- ノリ網の検鏡結果
 - ・あかぐされ病が4漁場で、ツボ状菌が5漁場で確認されました。
 - ・付着物は珪藻(リクモフォラ、タビュラリア)が確認されました。